

GMB 株式会社

2015年3月期第2四半期 決算説明会資料

2014年11月19日・20日



(電動ウォーターポンプ)

証券コード 7214

<http://www.gmb.jp>

注) 本資料中、当社の業績等に関わる数値は、表示桁数未満切捨て記載しております。



・ 2015年3月期上期実績

・ 2015年3月期通期見通

・ 今後の対応

2015年3月期1-2Q 損益実績



(単位:百万円・%)

	前期1-2Q累計		当期1-2Q累計		前期比	
	金額	(構成比)	金額	(構成比)	増減額	増減率(%)
売上高	28,336	(100.0%)	31,668	(100.0%)	3,331	+11.8
売上総利益	4,570	(16.1%)	5,196	(16.4%)	625	+13.7
営業利益	833	(2.9%)	1,094	(3.5%)	260	+31.2
経常利益	1,193	(4.2%)	914	(2.9%)	▲ 279	▲ 23.4
純利益	482	(1.7%)	340	(1.1%)	▲ 141	▲ 29.3
EPS(円)	92.53		65.42		—	—

【最近の四半期業績推移】

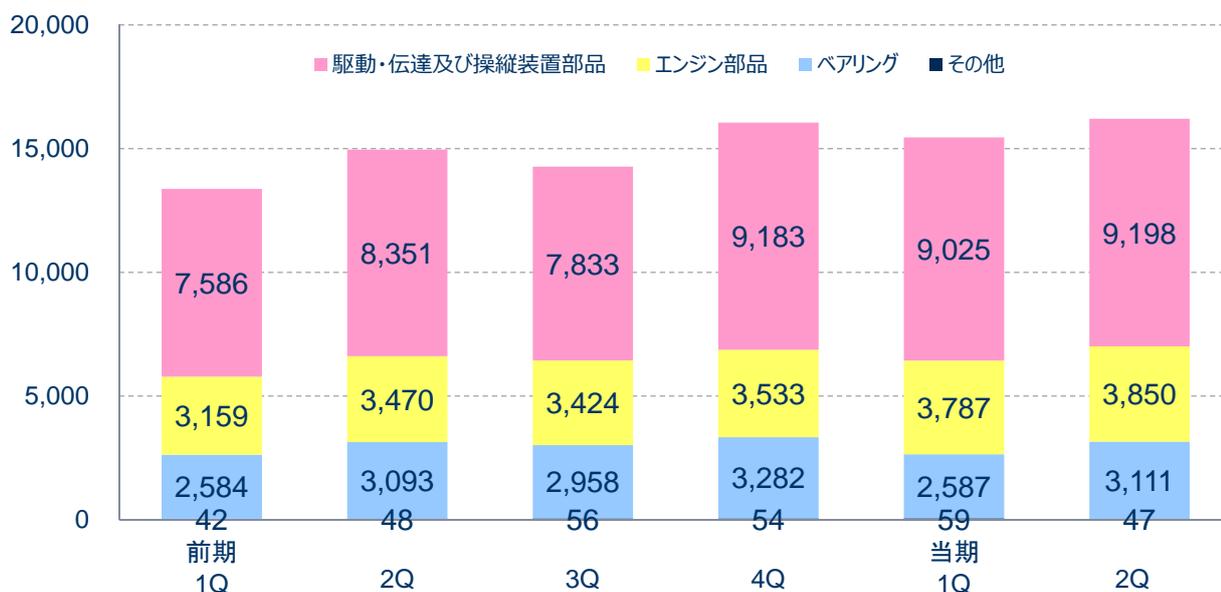


- 3 -

売上高の品目分類別推移 (四半期毎)



(単位:百万円)



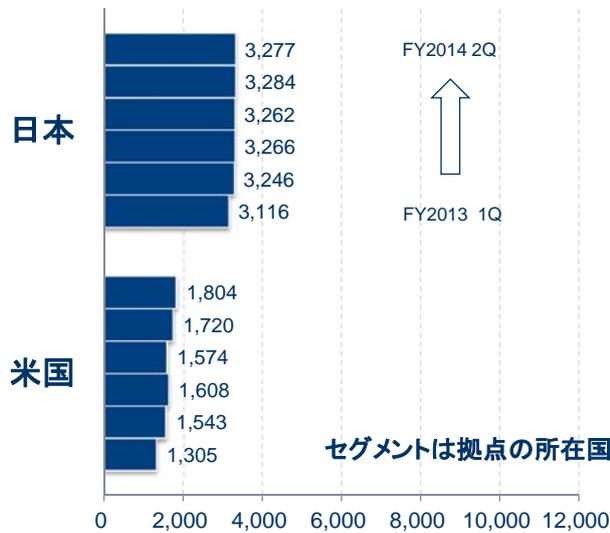
駆動系では、韓国・中国でのバルブスプールなどAT部品や等速ジョイントなどの新車用品が引き続き順調に推移。エンジン部品では、北米・中東・欧州など海外補修用のウォーターポンプが増加。ベアリングは、取扱製品の拡大により販売が回復。

- 4 -

セグメント情報 日本・米国（四半期毎）

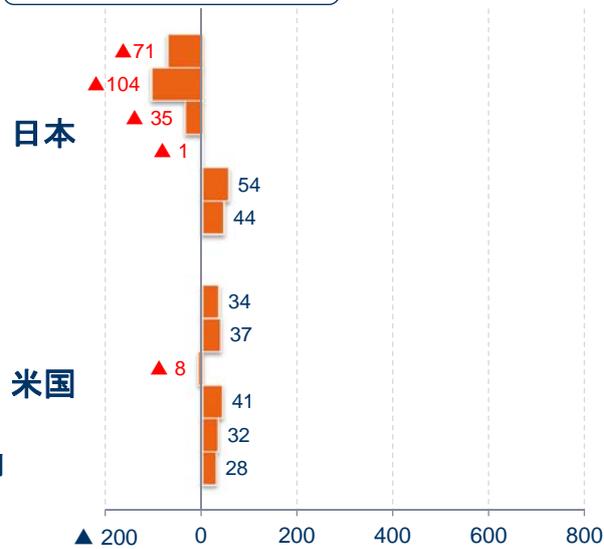


外部売上高



セグメント利益

(単位:百万円)



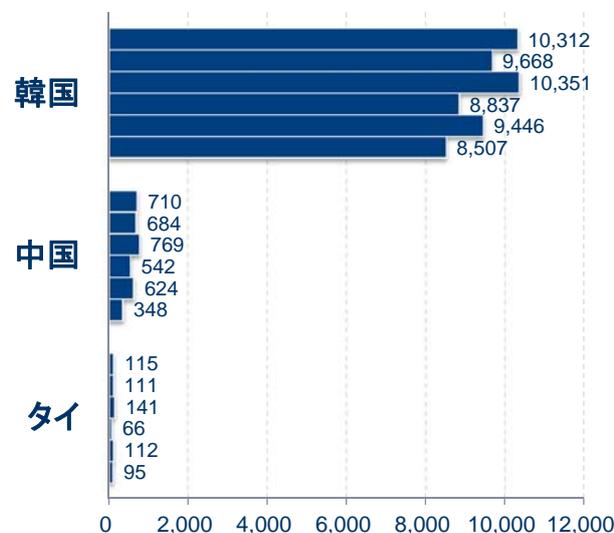
セグメントは拠点の所在国別

日本は、円安定着の中でも売上増加が一部に留まるなかで、輸入コスト上昇と国内工場の固定費の高止まりに大きな改善が図れず、赤字拡大。米国は、全般的な需要動向と販売努力によりウォーターポンプを中心に売上が安定的に推移し、利益も横ばい。

セグメント情報 韓国・中国・タイ（四半期毎）



外部売上高



セグメント利益

(単位:百万円)

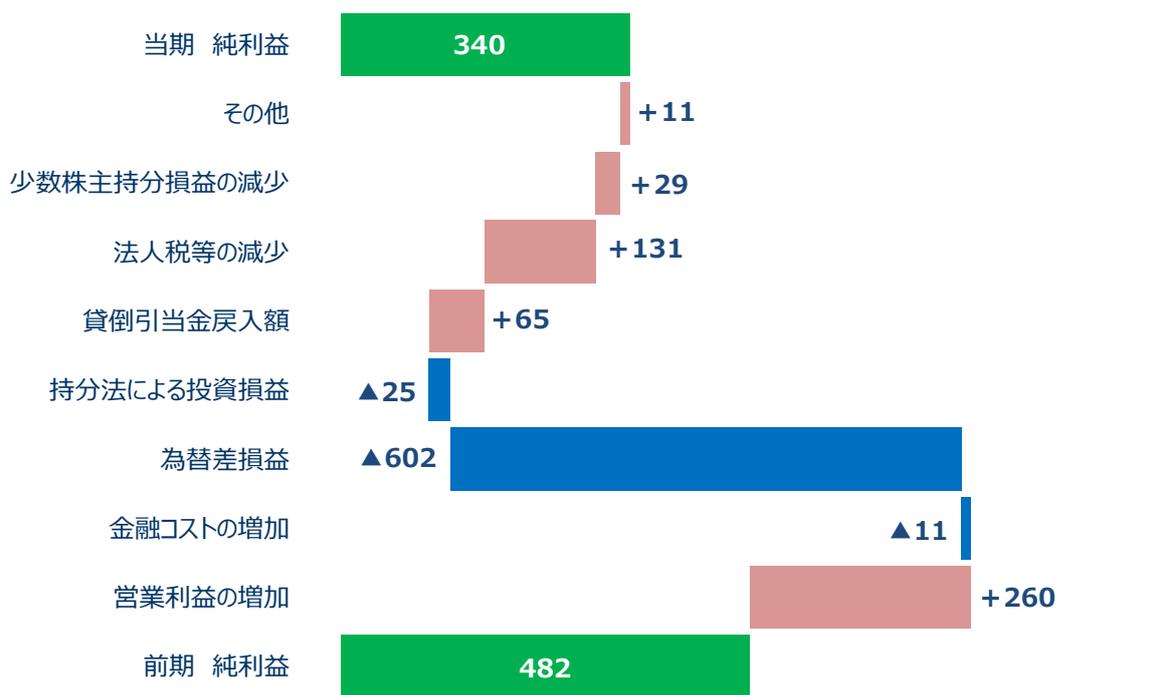


韓国は、バルブスプールなど新車用部品の販売が順調ながら、全体としてはウォンベースで売上横這いとなったが、人件費や償却費、研究開発費などの固定費増加を調達コストや経費削減努力で吸収し、前期比増益。中国・タイの生産拠点はグループ内部の生産量と取引価格の改善、さらには生産性向上により、ほぼ計画どおり採算面で改善。

営業利益以下の増減要因（1-2Q）



（単位：百万円）



- 7 -

キャッシュ・フローの実績（1-2Q）



	前期	当期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	1,747	1,629	▲117
投資活動によるキャッシュフロー	▲1,660	▲2,171	▲510
財務活動によるキャッシュフロー	606	1,353	+746
フリーキャッシュフロー	86	▲541	▲627



【 当期の主な内訳 】

● 営業CF	
税金等調整前利益	900 百万円
減価償却費	1,538
売上債権の増加	▲164
たな卸資産の増加	▲47
仕入債務の減少	▲397
為替差損益	274
法人税の支払額	▲362
● 投資CF	
設備投資	▲2,477
関連会社増資	▲170
定期預金解約	239
● 財務CF	
借入金の増加	1,949
社債の償還	▲330
配当金の支払額	▲248

- 8 -

・ 2015年3月期上期実績

・ 2015年3月期通期見通

・ 今後の対応

-9-

2015年3月期 損益計画

(単位:百万円・%)

	FY2013 (通期実績)	FY2014			前期比
		(1Q-2Q実績)	(3Q-4Q計画)	(通期計画)	
売上高	58,663 (100.0%)	31,668 (100.0%)	34,132 (100.0%)	65,800 (100.0%)	+12.2%
営業利益	2,111 (3.6%)	1,094 (3.5%)	1,306 (3.8%)	2,400 (3.6%)	+13.7%
経常利益	2,251 (3.8%)	914 (2.9%)	986 (2.9%)	1,900 (2.9%)	△15.6%
当期純利益	881 (1.5%)	340 (1.1%)	460 (1.3%)	800 (1.2%)	△9.3%
EPS (円)	169.17	65.24	-	153.51	

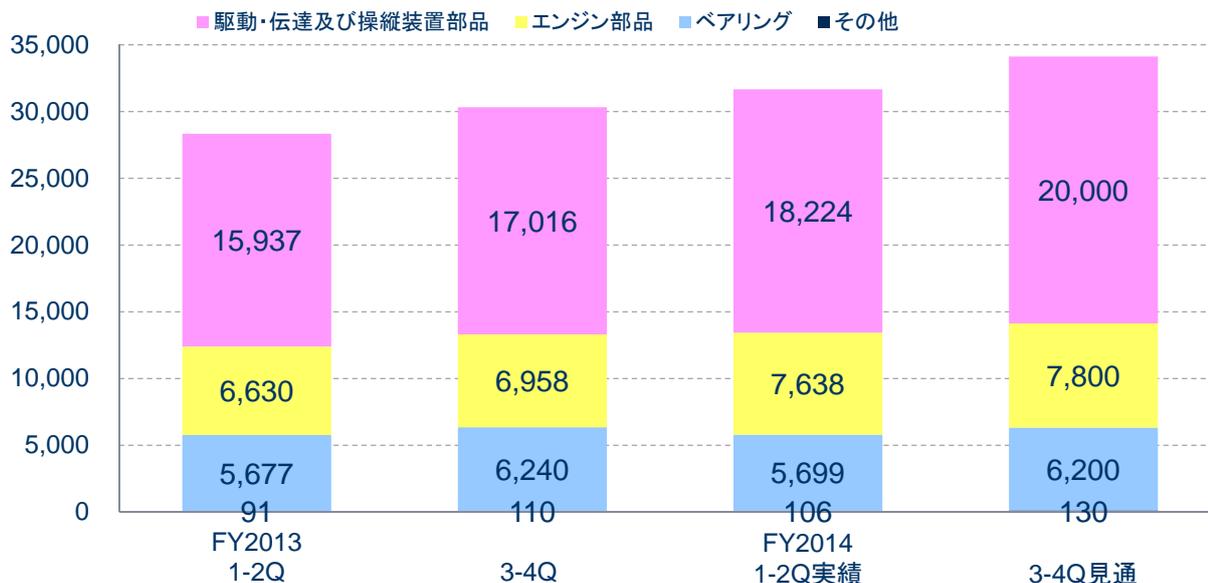
【最近の5年間の業績推移】



売上高の品目分類別計画（半期毎）



（単位：百万円）



駆動系は新車用での韓国・中国向けバルブスプールが牽引、等速ジョイントや欧州向けユニバーサルジョイントも増加。エンジン部品は海外補修用に加え、電動ウォーターポンプ含む韓国の新車用も増加を見込む。ベアリングは、ハブベアリングなど補修用製品の品揃え強化で前下期並みの回復を見込む。

セグメント計画 日本・米国（半期毎）



（単位：百万円）

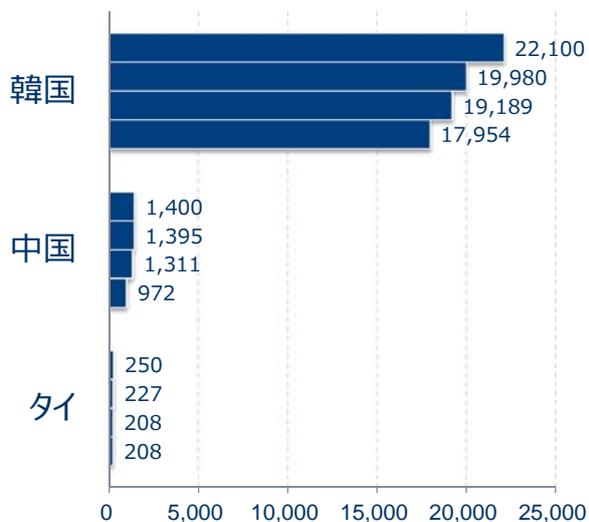


日本は、海外補修用部品や欧州新車用部品の販売増加と、一層のコスト削減、国内工場の合理化加速による黒字化を見込む。米国は、下期大手顧客向けのウォーターポンプの販売減少の影響を受けるが、取扱製品の拡大や調達コスト削減により、売上・利益とも前期下期並みを予想。

セグメント計画 韓国・中国・タイ（半期毎）



外部売上高



セグメント利益

(単位：百万円)



韓国は、引き続きA T部品を中心に新車用部品販売が順調に推移する一方、ウォン高により補修用部品を中心とした輸出による拡販が期初計画対比減少。利益面では、人件費や開発費の増加もあり、上期並みを見込む。中国は、計画していた現地納入案件の遅れで期初計画比利益予想を引き下げ。タイは量産効果継続するも、円安パーツ高と販売価格の改定により、上期対比減益を予想。

設備投資・減価償却費



(単位：億円)

設備投資・減価償却費の推移



FY2014 設備投資計画の内訳

	投資額 (期初)	主な内容
日本	6.0 (8.0)	維持・合理化
韓国	29.0 (33.0)	工場増築・増産対応 ・新規開発・更新 等
中国	22.0 (26.0)	増産・合理化対応 工場新設
タイ	2.5	生産移管対応
欧州	7.5	ロシア、ルーマニア工場新設
計	67.0 (77.0)	

・ 2015年3月期上期実績

・ 2015年3月期通期見通

・ 今後の対応

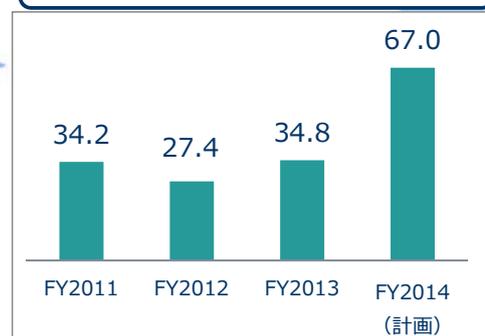
今後の対応

積極的な設備投資を推進



- ・ 韓国・中国でのAT部品増産対応
- ・ 中国4番目の拠点・南通GMB設立
- ・ 欧州初の製造拠点として、ロシア・ルーマニア進出

設備投資額推移と地域別内訳 (億円)



今後の対応



今後の対応



- 積極的な拠点展開と設備投資でグローバル供給体制を確立
- 技術的な取組を強化し、新製品開発と新市場開拓を推進
- 国内工場の集約化を進めつつ、新車用部品事業での再活性化めざす

- 将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- 本資料および当社IRに関連するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

＜お問い合わせ先＞
G M B 株式会社 経営管理室
電話 : 0745-44-1912
Email : ir@gmb.jp